

研修会報告

令和3年2月9日

文責：佐藤 貴光

研修会テーマ「きほんの“き”から学ぶ末梢神経伝導検査」

開催日時 令和3年2月6日（土）14：00～17：00

会場 Web開催

司会 佐藤 貴光

生涯教育点数 専門20点

参加者 会員参加者45名 入会申請中会員0名 非会員0名 賛助会員0名 学生0名
合計45名

講演1「きほんの“き”から学ぶ末梢神経伝導検査～上肢編～」

講師：東北大学病院 生理検査センター 浅黄 優 技師

座長：坂総合病院 奥山 由紀

講演2「きほんの“き”から学ぶ末梢神経伝導検査～下肢編～」

講師：東北大学病院 生理検査センター 小澤 鹿子 技師

座長：仙台市立病院 佐藤 貴光

17:00 終了

内容

新型コロナウイルスの影響で2020年2月より延期となっていた、末梢神経伝導検査の研修会の内容を一部変更して開催した。上肢と下肢の末梢神経伝導検査について、日本臨床神経生理学会専門技術師の技術と考え方を学ぶ機会として企画した。

講演1では、上肢の末梢神経伝導検査についてご講演いただいた。解剖学と電気生理学についての理解を深め、それらの知識を基に検査を施行し、導出された波形が意味することを考えることが重要であるとのことであった。講演2では下肢の末梢神経伝導検査のポイントと糖尿病性神経障害の評価についてご講演いただいた。特に糖尿病性神経障害の重症度判定においては下肢の検査が不可欠であり、正確な手技と知識が必要となる。いずれの講演においても検査の基本手技から症例の考え方まで幅広く学ぶことができ、大変有意義な内容であった。

生理検査部門では初めてのWeb開催であったが、大きなトラブルなく開催することができた。末梢神経伝導検査をテーマにした研修会は限られ、今回の研修会は参加者にとって有益なものであったと考える。研修会後のアンケートも総じて好評であったが、検査の性質上、ハンズオン研修会を要望する声は多く、検討課題である。今後も宮城県臨床検査技師会員にとって価値ある研修会を開催していきたい。